

－アンケート調査票－

環境問題に対する意識や関心について

問1 あなたは、環境問題に対して関心がありますか。(○は1つ)

1. 非常に関心がある 2. 関心がある 3. あまり関心がない 4. 全く関心がない

⇒問2からお答えください。

⇒問4からお答えください。

問2 問1で「1」、「2」と答えた方にお聞きします。

現在、どのような環境問題に関心がありますか。(○はいくつでも)

1. ごみ問題（不法投棄、不適正処理、ごみの増加など）
2. 地球温暖化
3. 資源・エネルギーの問題
4. 自然環境や生物多様性の保全
5. 海や川の汚れ
6. 自動車騒音・振動・排ガス
7. 工場・事業場からの大気汚染や臭い
8. ダイオキシン類等の有害な化学物質による環境汚染
9. 地下水や土壌の汚染
10. その他（具体的に： _____)

問3 問1で「1」、「2」と答えた方にお聞きします。

問2で選択した環境問題に関心を持つようになったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1. 学校での環境教育（授業・クラブ活動など）
2. 地域の緑化・美化活動への参加
3. 自然観察会、自然保護活動、体験型学習会（工作教室・実験など）への参加
4. 愛知万博、COP10^{※1}、ESD^{※2}など国際的なイベントや会議
5. 事業者、NPO、行政などが実施する環境学習や環境に関するイベント・セミナー、講演会
6. 環境について学べる施設の見学
7. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオからの情報
8. 書籍、白書、環境報告書からの情報
9. 広報誌、パンフレットからの情報
10. インターネットからの情報
11. その他（具体的に： _____)

※1：COP10とは、「生物多様性条約第10回締約国会議」のことであり、2010年10月に愛知県名古屋市中で開催されました。

※2：ESDとは、「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）」の略で、持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育のことです。2014年12月に愛知県名古屋市中で、「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催されました。

問4 環境問題に取り組む姿勢として、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 積極的に取り組みたい	2. 少しぐらい負担になっても取り組みたい
3. 負担にならない範囲で取り組みたい	4. 取り組むつもりはない

豊川市の環境に対する満足度などについて

問5 あなたは、豊川市の環境が以前と比べてどのように変化してきていると思いますか。(○は1つ)

1. 良くなった	2. やや良くなった	3. あまり変化がない
4. やや悪くなった	5. 悪くなった	6. わからない

問6 以下の環境の快適さを表す各項目について、あなたのご近所や町内の範囲を思い浮かべ、現在の「満足度」と今後の「重要度」として、あなたの今のお気持ちに最も近い番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
(1) 空気のきれいさ	1	2	3	4	1	2	3	4
(2) 川や池、水路のきれいさ	1	2	3	4	1	2	3	4
(3) 周辺の静けさ(騒音がない)	1	2	3	4	1	2	3	4
(4) 周辺の清潔さ(ごみやフンがない)	1	2	3	4	1	2	3	4
(5) 身近な緑の豊かさ	1	2	3	4	1	2	3	4
(6) 自然に親しむ場(里山・農地等)の豊かさ	1	2	3	4	1	2	3	4
(7) 生き物(野鳥・昆虫等)にふれあう場の豊かさ	1	2	3	4	1	2	3	4
(8) 公園など憩いの場の快適さ	1	2	3	4	1	2	3	4
(9) 景観の美しさ	1	2	3	4	1	2	3	4
(10) 公共交通機関の利用の便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
(11) その他()	1	2	3	4	1	2	3	4

環境保全の取組について

問7 あなたは、次のような環境保全の取組を実行していますか。各項目について、該当する番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	実行しており、 今後続ける	実行していないが、 今後実行したい	実行していない (関心がない、意識し ていない)
(1) 日常生活において省エネルギーに取り組んでいる	1	2	3
(2) 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している	1	2	3
(3) 公共交通機関や自転車を積極的に利用している	1	2	3
(4) 自動車を運転する際はエコドライブを心がけている	1	2	3
(5) 緑のカーテンの設置や打ち水を行っている	1	2	3
(6) 沿道花壇など、地域での緑化活動に参加している	1	2	3
(7) 森林の保全活動に参加している(林業体験学習など)	1	2	3
(8) 河川・海岸の保全活動に参加している(清掃活動など)	1	2	3
(9) 雨水貯留タンクを設置している	1	2	3
(10) 地域の野生動植物の保護に取り組んでいる	1	2	3
(11) 農地の保全活動に取り組んでいる(地場農産物の購入など)	1	2	3
(12) 巨樹・古木の実態調査など、保護活動に参加している	1	2	3
(13) リフューズ ^{※1} ・リデュース(ごみの減量)を心がけている	1	2	3
(14) リユース(再使用)を心がけている	1	2	3
(15) リサイクル(再生利用)を心がけている	1	2	3
(16) ごみを適切に分別しごみ出しルールを守っている	1	2	3
(17) 生活騒音に気をつけている(テレビの音量やペットの鳴き声など)	1	2	3
(18) 生活排水に気をつけている(洗剤使用の適正化など)	1	2	3
(19) 自然とふれあう活動に参加している	1	2	3
(20) 地域の伝統行事の保存活動に参加している	1	2	3
(21) ごみのポイ捨てをしないなど、環境美化に取り組んでいる	1	2	3
(22) 環境教育・環境学習の活動に参加している	1	2	3
(23) 環境に関する取組の情報収集を行っている	1	2	3
(24) 環境に関するNPO・ボランティア活動に参加している	1	2	3
(25) その他(具体的に：)	1	2	

※1：リフューズとは、「Refuse：無駄なものを断る」のことであり、不要なものをもらわない、断ることで、ごみとなるものを家庭に持ち込まないという考え方です。

問 8 あなた自身が環境保全の取組をより積極的に実行していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 取組の効果が目に見えること (例：水質の改善 など)2. 取組による直接的なメリットがあること (例：光熱費の節約 など)3. 取組方法について情報が提供されていること (例：マニュアル、ガイドブック など)4. 取組の社会的意義や責任が感じられること (例：取組の紹介 など)5. 楽しみながら取り組むことができること6. 一人ではなく、みんなで取り組む運動となること7. 取組に対する支援があること (例：補助金の交付 など)8. 取組の励みになるものがあること (例：表彰、ポイント制度 など)9. その他(具体的に：)10. 特にない |
|--|

問 9 環境保全の取組が市民の皆さんに広がるために、本市はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 環境に関する情報の提供・意識啓発2. 環境について学習できる機会・環境学習施設の充実3. 市民・NPO が行う環境保全の取組の支援4. 環境保全活動における市民、事業者、NPO 等多様な主体による連携・協働の促進5. 市民の環境配慮行動に対する経済的支援や特典の付与6. 展示会・講演会・セミナーなどの環境イベントの実施7. その他(具体的に：)8. 特にない |
|---|

本市の環境基本計画に関する取組について

問 10 あなたは、「豊川市環境基本計画」を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない
----------	-------------	---------

問 11 本市の環境基本計画に関する環境目標について、今後の重要度をどのように考えますか。表右側の重要度について、該当する番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ) また、より良い環境を将来の世代に引き継ぐため、今後、特に重点的に取り組むべき取組を3つ選び、番号を記入してください。

環境目標		取組	重要度			
			高い	やや高い	やや低い	低い
低炭素社会	(1)エネルギーを大切にしよう	①省エネルギーの推進 ②再生可能エネルギー、新エネルギーの導入推進	1	2	3	4
	(2)車の使い方を考えよう	③自動車使用頻度削減などの推進 ④エコカー、エコドライブの推進	1	2	3	4
	(3)まちを涼しくしよう	⑤ヒートアイランド対策の推進 ⑥緑化の推進	1	2	3	4
生物多様性	(4)いろいろな生き物の住む自然を守ろう	⑦森林の保全・整備 ⑧河川・海岸の保全 ⑨水循環の保全 ⑩自然環境との共生	1	2	3	4
	(5)身近な自然を守ろう	⑪農地の保全 ⑫巨木・名木の保全	1	2	3	4
循環型社会	(6)ごみを減らして、リサイクルしよう	⑬リフューズ・リデュースの推進 ⑭リユースの推進 ⑮リサイクルの推進	1	2	3	4
	(7)ごみをきちんと処理しよう	⑯廃棄物処理施設の整備推進 ⑰廃棄物の適正な処理の推進	1	2	3	4
住みよさ	(8)空・水・土を守り、健康なくらしを保とう	⑱大気汚染や騒音などの防止 ⑲水質汚濁の防止 ⑳悪臭・土壌汚染・地下水汚染などの防止	1	2	3	4
	(9)快適でゆとりある生活空間をつくろう	㉑ゆとりある生活空間の形成 ㉒人と自然がふれあえる空間の整備	1	2	3	4
参加と協働	(10)豊川らしさを保ち、育もう	㉓歴史的遺産の保存と活用 ㉔良好な景観の形成	1	2	3	4
	(11)みんなで考え、行動しよう	㉕環境教育・環境学習の推進 ㉖環境情報の収集と提供 ㉗自発的活動の促進	1	2	3	4

※今後、特に重点的に取り組むべき取組について、表の①～㉗から3つ選び、番号を記入してください。①～㉗以外の場合は、「㉘」と記入し、その他記入欄に具体的な内容をお書きください。

			<その他記入欄>
--	--	--	----------

地球温暖化対策について

問 12 あなたは、地球温暖化に対して関心がありますか。(○は1つ)

1. 非常に関心がある 2. 関心がある 3. あまり関心がない 4. 全く関心がない

問 13 地球温暖化対策を進めるため、本市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。
(○は3つまで)

1. 地球温暖化や省エネルギーなどに関する情報を発信し、啓発する
2. 学校や地域での環境学習、環境教育を充実させる
3. 家庭や事業所などに対して指導等を行う
4. 太陽光など再生可能エネルギーを利用した設備やエコカーなどの導入に対して補助制度を充実させる
5. 環境に配慮した行動の普及・定着を推進する
6. 再生可能エネルギー設備などを市が率先して導入する
7. 資源の再利用やごみの排出量抑制を進める
8. 公共交通機関を充実させる
9. その他(具体的に:)
10. 特にない

問 14 地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する取組を「緩和」といいます。さらに近年、熱中症の予防や土砂災害・水害対策など、地球温暖化の影響に備える「適応」という考え方が広がっています。あなたは、「適応」という考え方を知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 少しは知っている 4. 知らない

問 15 あなたは、地球温暖化の影響への「適応」について、本市に対し特にどの分野の取組を求めますか。(○は3つまで)

1. (基本的分野) 地球温暖化による影響の調査、情報提供など
2. (農業、森林・林業、水産業分野) 山地災害が発生する危険性の高い地区の的確な把握など
3. (水環境・水資源分野) 生活排水対策の推進や雨水・再生水の利用促進など
4. (自然生態系分野) 緑地の適切な管理による動植物の生息・生育環境の確保など
5. (自然災害・沿岸域分野) 河川・海岸の堤防整備やハザードマップの作成など
6. (健康分野) 熱中症対策・感染症対策の普及啓発など
7. (産業・経済活動分野) 企業による適応技術の開発促進など
8. (国民生活・都市生活分野) 緑化や人工排熱低減といったヒートアイランド対策など
9. その他(具体的に:)
10. わからない

あなたのことについて

問 16 あなたのことについておたずねします。各項目について、当てはまるものの番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ、ただし、地球温暖化対策設備導入状況はいくつでも)

【性別】

1. 男性	2. 女性
-------	-------

【年齢】

1. 10代(18~19歳)	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代以上	

【家族構成】

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親子二世帯
4. 親子孫三世帯	5. 兄弟・姉妹	6. その他()

【職業】

1. 自営業(農漁業等従事者も含む)	2. 会社員等(公務員・会社役員・専門職含む)
3. 学生・専門学校生	4. パート・アルバイト
5. 無職(家事従事者も含む)	6. その他()

【居住地区(中学校区)】

1. 東部	2. 南部	3. 中部	4. 西部	5. 代田
6. 金屋	7. 一宮	8. 音羽	9. 御津	10. 小坂井
11. わからない()	※町名を記入してください			

【居住年数】

1. 生まれたときからずっと	2. 転入後5年未満	3. 転入後5年以上10年未満
4. 転入後10年以上20年未満	5. 転入後20年以上30年未満	6. 転入後30年以上

【住居形態】

1. 一戸建て(持ち家)	2. 一戸建て(借家・公営住宅・社宅)
3. マンション(分譲)	4. アパート・マンション(賃貸・公営住宅・社宅)
5. その他()	

【地球温暖化対策設備導入状況】※○はいくつでも

1. 住宅用太陽光発電システム	2. ホームエネルギーマネジメントシステム ^{※1}
3. 住宅用燃料電池システム ^{※2}	4. 住宅用リチウムイオン蓄電池システム ^{※3}
5. 住宅用電気自動車等充電設備	6. その他()
7. 導入していない	

※1~※3の用語解説は、紙面の都合上、次のページに記載しています。

次のページで最後になります。

問 17 市内の事業者による環境保全の取組に対して、提案、期待すること等があれば、ご自由にお書きください。

例) 地域の環境保全の取組に対して支援をお願いしたい(場所や備品の提供、資金の支援など)、製品やサービスの環境配慮について分かりやすく情報提供して欲しい、市民を対象とした環境講座を開いて欲しい など

問 18 本市の環境面からのまちづくりへの提案、期待、要望等があれば、ご自由にお書きください。

このアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**平成 30 年 12 月 5 日 (水) までに**
ポストへ投函してください。(切手は不要です。)

ご協力ありがとうございました。

※1: ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS) とは、住宅で使用される機器や設備のエネルギー消費量を可視化し、一元管理することで、エネルギー使用と管理を効率的に行うシステムのことです。

※2: 住宅用燃料電池システム (エネファーム) とは、電気とお湯をつくる設備で、都市ガスから水素を取り出し、酸素と化学反応させて電気を発電、発電時の熱を使ってお湯をつくります。

※3: 住宅用リチウムイオン蓄電池システムとは、リチウムイオン電池の蓄電池で、電気料金の安い夜間の電力を貯めておいて昼間に使用したり、停電の際に電化製品を使用したりすることができます。